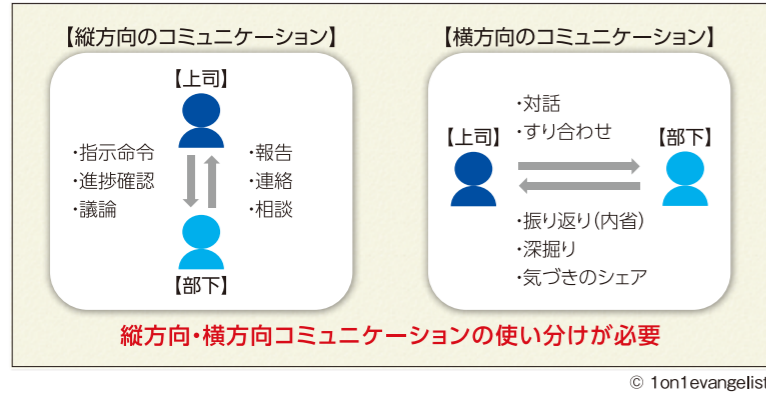


部下を育て、業績をアップさせる コミュニケーション最強ツール 「1 on 1 MTG」

図① 1on1MTGとは何か?



1on1を導入する前にコミュニケーション低下の背景をきちんと知っておく必要があります。今回は上司の立場からアドバイスいたします。

上司と部下の間で起きる 解釈の「ズレ」

日本企業では仕事を進めていくとき、図①の「縦方向のコミュニケーション」が主流でしょう。上司からの指示命令・進捗確認に対して、部下が報告・



テレワークの浸透が影響しているのか、部下とのコミュニケーションがどんどん希薄になり、うまく指導・育成ができないという声は多い。そうした声に応えるかのように、コミュニケーションの優れたツールとして「1on1MTG (ワン・オン・ワン ミーティング)」が注目されている。ヤフーでの社員時代、1on1MTGを定着に向け推進させた実績を持つ堀井耕策氏に伺った。

連絡・相談して仕事を進めていく。実はこれも1on1なのですが、解釈の違いで「ズレ」が出て「とにかくやれ!」となります。

例えば「急ぎで資料を作してほしい」と指示すると、部下は明日の昼までにあげればいいやと思っても、上司は今日の夕方には欲しかったのです。すると「まだ出来ていなかったのか!」とつい言うてしまうことに。

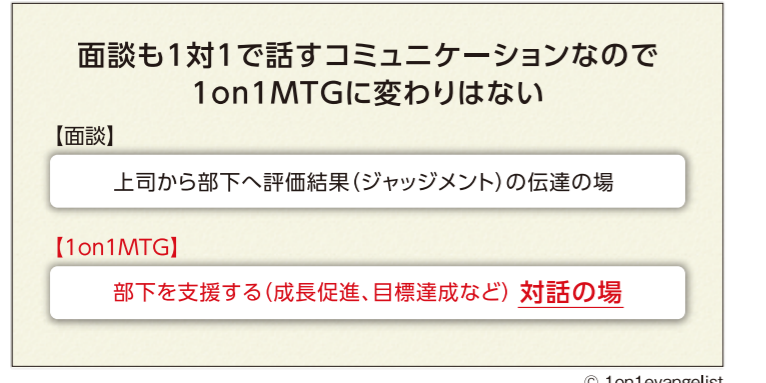
それがテレワークとなれば、メールでの指示が多くなり、文字だけでは伝わりにくい部分もあり、ズレも生じやすくなるのです。

ズレの事例をもう一つ。ある2人に紙とペンを渡して「犬をかくてください」と指示をします。Aさんはどんな耳だったかな、尻尾は長くしておこうかと犬の絵を描きます。Bさんはただ「犬」と文字を書きました。これこそ解釈の違いです。

解釈の「ズレ」を直すのが1on1

部下のパフォーマンスを低下させ、生

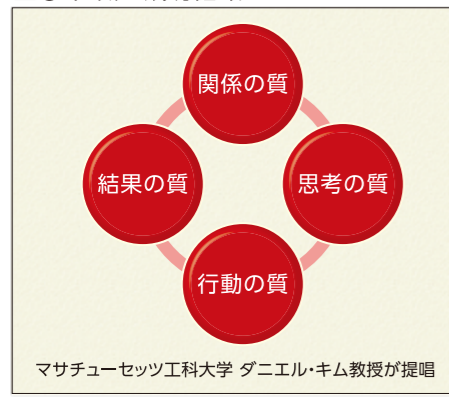
図② 1on1MTGと面談の違い



産性を悪くしている「ズレ」。これを直すには「すり合わせ」が必要です。そこで図①の「横方向のコミュニケーション」の1on1が必要になってきます。

例えばある業務を部下に指示したとしましょう。その指示した後に「私はこういう解釈をしているが、君はどういうアウトプットをしようと思っているかな?」というすり合わせをするわけです。

図③ 組織の成功循環モデル



図③「組織の成功循環モデル」をご覧ください。

まず、結果だけを求める「結果の質」の向上からスタートをすると、な

お互いの価値観を知り、 「関係の質」を高める

1on1は、「解釈のズレを直すため」に行うということが大前提にあります。ですから、1on1は面談というよりも、「対話」と考えてください(図②参照)。

ただ、業務の指示命令には図①の縦方向も必要ですから、横方向と合わせて使い分けるのがポイントです。

ではなぜ解釈のズレが起きるのでしょうか。これを把握しないと、1on1をいくらやっても解決しません。

「テレワークで、職場のコミュニケーションの質が落ちてきたので活性化させたい。そのために1on1MTG (以下1on1)を導入し、推進してほしい」というオーダーは実にたくさんいただきます。

コミュニケーションが希薄になると、社員のパフォーマンスの低下にもつながり、会社の業績にも影響を及ぼします。で、社員間の良好なコミュニケーションは重要だと言えます。

しかし、コミュニケーション低下の原因はテレワークだけではありません。もともと根本的な組織運営のあり方、人材マネジメントへの考え方にあります。

コミュニケーションの低下は、 テレワークだけではない

◎プロフィール
堀井 耕策氏
HORII Kosaku

1on1エバンジェリスト・研修講師・人事コンサルタント。成城大学非常勤講師。横浜市在住。ヤフー株式会社にて役職者向け1on1MTG研修講師等を務め、副業として大手企業や官公庁での研修も多数行う。2021年、独立。研修を通じて1on1MTGに必要な知識、スキルを伝える人材を育成し「個人と組織」が共に創造的に進化するためサポートを行っている。